

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第18号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7121



言語聴覚士法の成立を祝う
言語聴覚障害学科の学生と
教員（中央は笹沼学科長）



第2回英語スピーチコンテスト

第1位の安孫子幸子さん
（理学療法学科）と大谷学長



言語聴覚士法など成立

昨年の12月12日に開会しました第141回臨時国会で、言語聴覚士法、精神保健福祉士法、公的介護保険法が成立しました。これらの法律は、本学の学生の将来の資格や仕事に密接に関係するものです。



英語スピーチコンテストで
熟弁をふるう学生たち



＝ 目 次 ＝

ページ		ページ		ページ	
新年によせて	2	国際交流委員会	3	言語聴覚障害学科	5
新年ご挨拶	2	図書委員会	4	放射線・情報科学科	5
新年によせて	2	紀要委員会	4	医療経営管理学科	5
出来事	2	情報化委員会	4	医療福祉学科	6
学長の日程から	2	ボランティア委員会	4	医学教育センター	6
大学来訪者	2	第2回学長杯英語スピーチ コンテスト開催	4	語学教育センター	6
動物慰霊祭	2	脊髄治療確立のキャンペーンで 車椅子レーサー来校	4	臨床医学センター	6
THE PHYSICALLY CHALLENGED	3	学科・センターだより	5	言語聴覚センター	6
お知らせ	3	看護学科	5	教員紹介	6
平成10年度学年暦	3	理学療法学科	5	17号のクイズの正解	7
報告	3	作業療法学科	5	当選者発表	7
教務委員会	3			リレーエッセイ	8
				編集後記	8
				IUHWクイズ	8

新年によせて

新年ご挨拶

理事長 高木邦格

新年あけましておめでとうございます。

つい先日開学したばかりと思っていましたが、今年は保健学部が完成年次を迎え、いよいよ4学年全部が揃うことになります。当初は、教職員も学生もとまどうが多かったように思いますが、皆さんの前向きな姿勢に大いに助けられ、こうして4年目を迎えることができました。

本学では毎年、重点目標を定めて徐々に大学としての整備を進めています。昨年は食堂の拡充や駐車場の整備、健康管理センター並びに言語聴覚センターの開設を行いました。今年、大学院設置申請と国際医療福祉総合研究所の立ち上げ、通信衛星プロジェクトの実験開始等を予定しています。また、西那須野町のマロニエ苑に隣接した現在使用されていない病院を購入し、大学の関連施設として整備をし、年内にも発足させる予定です。

本学はどの学科も実習に多くの時間をさかなければならず、実習施設もご承知のように全国各地に分散して、学生や教員の皆さんにはご苦勞をおかけしていますが、今後はこうした関連施設を重点的に整備していきたいと考えています。

今年初めての国家試験を迎えるなどまた新たな動きのある年となります。つつがなく良い年となりますよう皆さんとともに力を尽くしていきたいと思ひます。

新年によせて

学長 大谷藤郎

明けましておめでとうございます。

年末に言語聴覚士と精神保健福祉士の二つの国家資格創設の法律が国会で成立しました。わが大学では全国にさきがけてこれらの養成に励んできましたので、待ちに待っていた朗報でした。しっかり勉強されて、国家免許を取得され、将来の活躍を期待しております。

さて、今年は大大学も4年目にはいり、1年から4年まで全学年が揃う記念すべき年となります。研究所も活動を開始し、大学院設置構想も進展いたします。

また、4年生になる人にとっては、来年3月には第一回卒業生として、この大学から初めて社会に向かって羽ばたかれる年となります。学生の皆さんはもちろん、教職員も一体となってその準備に邁進しましょう。国家試験、就職と高いハードルが待ちかまえています。西那須野が原最後のキャンパス・ライフとなるのですから、どうぞ、一日一日悔いのない春夏秋冬を送っ



てくださることを祈ります。

ここ那須野が原は、かつて一本の柳の下に、歌人西行法師や、俳聖松尾芭蕉がたたずみ、今に残る歌を詠んだ歴史ある由緒の地です。一木一草、日本文化の伝統の地で学べるのは幸せと思いますが、残された時間は短いことをお忘れなく。

出来事

◇学長の日程から

- *平成9年11月1日(土)
第34回看護リフレッシュコース
- *平成9年11月13日(木)
国立公衆衛生院講義
- *平成9年11月14日(金)
聖マリアンナ医科大学講義
- *平成9年11月19日(木)～21日(金)
予防医学事業推進全国大会：四国
- *平成9年12月1日(月)～2日(火)
全国精神障害者家族連合会全国会議

◇大学来訪者

- *平成9年11月19日(木)
㈱日本放射線機器工業会 25名
- *平成9年11月25日(火)
西那須野町教育委員会 10名
- *平成9年12月1日(月)
県西健康福祉センター 21名
- *平成9年12月1日(月)
栃木県総合教育センター 9名
- *平成9年12月4日(木)
安蘇郡民生委員児童委員協議会 20名

◇動物慰霊祭

生理学実習を受講した理学療法学科及び作業療法学科の1年生、言語聴覚障害学科の2年生を対象にして、実習で用いた動物の慰霊祭を昨年12月17日5時半より約1時間にわたり行いました。生理学の小林先生より、動物を用いて行う研究や生理学実習の倫理的・社会的責任、慰霊祭の必要性についてのお話を頂いた後、大谷学長をはじめ、ご出席頂いた先生方、事務局の方、実習グループの学生代表者が献花を行いました。最後に、問藤医学教育センター長より、自治医大における解剖学実習でのご遺体の供養と実習・研究に用いた動物に対する供養についてのお話と、本大学を含めてこのような実習を行うための社会的配慮、動物への配慮の大切さについてのお話を頂きました。問藤先生が講話の中で最後にまとめていらっしゃったように、実習を可能にしてくれた多くの人々の協力、そして、動物への感謝の気持ちを忘れず、今後とも多くのことを学んでいってほしいと思ひます。(黒澤美枝子)



THE PHYSICALLY CHALLENGED

Although I cannot say when the term "physically challenged" originated or who coined the phrase, it has become widely used in the United States. It is a term used to describe people who were otherwise called "physically disabled." "Physically disabled" implies that the person who is called this is unable to perform. "Physically challenged" implies that the physical environment is not friendly to the person and that structures exist that challenge the person to be "able." We all, at one time or another, find the environment physically challenging. For example, I cannot put my luggage in the overhead rack on some airplanes. It is physically challenging. For the person who has had a stroke or a spinal injury these kinds of challenges occur with more frequency and with much greater difficulty. There are solutions to the challenges, but in some cases societal will and creative technology have not yet arrived at optimal solutions. The physically challenged are part of mainstream society but are not always seen as part of it. Indeed, it is the society that has not always risen to the challenges of this group of people.

(Yuriko Lynn Yasuda, 作業療法学科、客員教授)

"THE PHYSICALLY CHALLENGED" 解説

米国では昨今身体障害者を指す "Disabled" の代わりに "Physically challenged" を広く使用するようになった。前者が個人の身体的能力を否定的に表現しているのに対し、後者は障害者にとってその環境が "やさしくなく" よりきびしい課題を与えていることを意味する。例えば健常者でも網棚に物がのせられない人もいることを考えてみれば、障害者が常に社会から大きなチャレンジを受けていることが理解できる。このチャレンジに応じなければならないのは、社会の意志と、創造的な新しいテクノロジーの成熟である。

(宮尾洋子)

8月1日(土)、5日(木) 29日(土)	大学説明会
9月1日(火) 25日(金) 28日(月)	実習及び補講期間開始 夏期休業終了 後期授業開始、履修登録変更期間開始
10月6日(火) 24日(土)~25日(日)	履修登録変更期間終了 大学祭
12月22日(火) 24日(木)~1月6日(木)	授業終了 冬季休業期間
1月7日(木) 20日(木) 21日(木)~29日(金)	授業開始 後期授業終了 後期試験期間
2月1日(月)~26日(金) 3月1日(月) 19日(金)	補講、実習予備期間 春期休業開始 第1回国際医療福祉大学卒業式

報 告

◇教務委員会

「臨床教育小委員会」の活動

当小委員会は、臨床教育に関する教務委員長の諮問事項および教務委員会の付託事項を検討する委員会として、平成9年3月に発足しました。教務委員の中から委員長が指名され、各学科から2名ずつが参加し、合計15名の委員から構成されています。これまでに7回の会議を行ってきました。

現在、教務委員長からの諮問事項が、幾つか示されています。そのうち、複数の学科が学ぶ実習施設に対し、誤解や混乱を避け、より好ましい状況での実習を可能にするための「施設への対応手順」の基本事項を、このほどまとめることができました。

既に幾つかの実習科目が実施された学科あり、まだ実施していない学科ありと、その進捗はさまざまですが、この「手順」を踏襲しつつ、なお、良い方法を求めて実習施設と交渉するための拠り所ができたものと思っています。

今後も、臨地実習(臨床実習)が効果的に行われるよう、実習環境の基盤整備という視点から、諮問事項としての課題に取り組んでいきます。常に超党派思考で検討したいと考えています。(寺田眞廣)

◇国際交流委員会

- 1) 本年度を締めくくる国際交流親善パーティーが、昨年12月10日(水)6時からレストランに於て、当委員会主催で開催されました。理事長、学長、留学生、国際ボランティア活動参加学生、留学生のホストファミリー、委員会活動に特にご支援いただいた教員の方々と委員約45名が出席し、交流を深めました。
- 2) 大田原市ガイドボランティアコースの研修会で、ベトナム国際ボランティア活動参加者、林由美子・三浦慈子さん(作業3年)が講師を務め、立派な発表を行いました。

お知らせ

◇平成10年度学年暦

4月7日(火)	入学式
8日(水)~10日(金)	オリエンテーション期間
10日(金)	履修登録期間開始
13日(月)	前期授業開始
24日(金)	履修登録期間終了
5月1日(金)	創立記念日(講義開講せず)
23日(土)	体育祭
7月17日(金)	前期授業終了
21日(火)~30日(木)	前期試験期間
31日(金)	学内研究発表会、夏期休業開始

- 3) 短期留学希望学生のニーズに応えるため、図書館に協力をお願いし、資料の収集や展示を行うこととなり、準備を進めています。
- 4) 本年度も「国際保健協力フィールドワーク・フェローシップ」の国内・海外研修に本校から代表が参加できることとなり、保健学部5学科に推薦をお願いしました。
- 5) 多くの学生の希望もあり、来年度の国際ボランティア活動の計画を急ぎ立てよう努力しています。
- 6) 委員会開催 11月11日、12月9日

(田中美子)

◇図書委員会

1に感謝 — 日清製粉(株)那須研究所と雪印乳業(株)生物科学研究所から Cell, Nature, Science 等12点の洋雑誌のバックナンバーが寄贈されました。

2に反省 — 延滞により図書館の利用が禁止されるケースがあります。言うまでもなく、図書館の蔵書は大学の共有財産です。私的占有は許されません。

3に歓喜 — 「ノートルダムの鐘」が上映された11月の鑑賞会には200名近い学生が詰め掛けました。年末特別企画の音楽映画「第九」、成人の日記念“The English Patient”…共(享)有財産の一部です。

(柴田知薫子)

◇紀要委員会

明けましておめでとうございます。先生方には本学紀要に対し暖かいご支援を賜り誠に有り難うございます。本年も宜しくお願いいたします。第8回紀要委員会は昨年11月25日(火)に開催いたしました。そこでは論文の掲載順序が検討され、一部改正することになりました。論文は原著、総説、論説、報告、資料、その他に分類され、この順序で掲載されますが、同類の論文については職制順としておりました。これを改め、第2巻からは同類論文は原稿の受付順とすることいたします。紀要第1巻については既に事務局から発送され、若干の礼状が届いております。(野原功全)

◇情報化委員会

平成9年11月6日(木)に第8回の情報化委員会を開催し、第7回の委員会に引き続き、本学のホームページのあり方について活発な議論を行いました。ホームページは国際医療福祉大学の情報・ニュースなどを広く世間に知らしめる意味で大変有意義であるという結論に達しました。さらに、その内容について討議し、現行のホームページは、本学の理念・入試要項・大学説明会、大学周辺地図などが掲載されており、最低限の情報発信となっているので、それに、カリキュラム・就職情報・公開講座・学生生活状況・年報(教員の研究業績、学会活動)、大学説明会でのQ & Aなどを

加えることが討議され、承認されました。また、各学科別のホームページについても検討し、学科独自の情報・新しい治療法・研究などを発信することも有意義であるという結論に達しました。しかし、ホームページの管理・運営については結論に至らず、引き続き検討することにいたしました。(樺澤一之)

◇ボランティア委員会

昨年11月4日に第3回委員会を開催、学内の情報交換を行った。11月から12月にかけては①理学や作業の1年生を中心に数名の学生からボランティア相談があり、喜連川町にある児童養護施設におけるボランティア活動の開拓をおこない、毎週土曜日夕刻から夜の時間にかけて子供たちの遊び相手と就寝時の本の読み聞かせの活動がはじまりました。②また福祉学科内において新たなボランティアサークル結成の相談があり準備中。③作業の3年生からの相談があり烏山町母子通園施設の障害児のスイミングスクールのボランティアの開拓ができないか検討中。④ボランティアサークル“あじさい”のリーダーのみなさんとの意見交換を行いました。(鈴木五郎)

◇第2回学長杯英語スピーチコンテスト開催、第1位は理学療法学科の安孫子幸子さん



12月9日午後6時から学長を迎えて、第2回学長杯英語スピーチコンテストが開催され、E101教室に2年生全クラスから選ばれた20名の出場者の熱弁が響きました。言語の榎本千江子さんの司会進行のもと、たくさんの声援を受けて各々実力を存分に発揮しました。長谷川豊先生、大石敬子先生をゲスト審査員に迎え、1位は理学療法の安孫子幸子さん、2位は看護の岡部有美子さん(写真左)、3位は作業の中川涼さん(写真右)でした。全員僅差の実力で、今後の一層の努力と成長が期待されます。

来年は今の1年生が主役です。楽しみにしています。(南井紀子)

◇脊髄治療確立のキャンペーンで車椅子レーサー来校



昨年10月28日、脊髄損傷の原因となる交通事故や労災事故の予防と啓蒙、および2000年までの脊髄損傷治療の確立をスローガンとするキャンペーン「紅葉前線」(国際脊髄研究基金主催)のため来日した車椅子レーサーSimon Barnesさん、Chris Madoenさん、Michael Mcelenyさんの3人が本学を訪れ、作業療法学科の授業で学生とディスカッションを行いました。

3人は青森から長崎まで、車椅子で縦断しました。
(作業療法学科)

学科・センターだより

◇看護学科

手応えのあった2年生看護実習Ⅱ

2年生の看護実習Ⅱが無事終了しました。この実習は、マロニエ苑と橋の災荘を実習施設とし、高齢者の理解や生活支援を目的としたものです。心身が自立している受け持ちの方を目の前にして「何もすることがない」と戸惑ったり、痴呆の方に対しては、「どうやってコミュニケーションを図ればいいのか」と悩みもしました。しかし、高齢者の日々の暮らしや人生に触れ、科学的に看護を組み立てる試みをし、少なくともこれからの学習課題が具体的になりました。遂に結論を出さずに、じっくりと学んだことを振り返ってほしいと思っています。
(福島道子)

◇理学療法学科

1月10日(土)に恒例となった第3回理学療法学科成人式が行われ、理学療法学科の1年生、2年生、合わせて85名が成人の仲間入りをしました。午前中に、雪水で体を清めた後、御神輿を担ぎ、午後からは厳かな成人式に続いて手作りのお餅や豚汁を食べながら教員、学生ともにお祝いしました。学長をはじめ多くの先生方からお祝いをいただきありがとうございました。企画、運営を担当した学生のみなさんご苦労様でした。
(齋藤昭彦)



◇作業療法学科

新年、あけましておめでとうございます。早速ですが、学生の近況、お伝えします。3年生—最終年臨床実習の施設が徐々に決まりつつあります。この本学独自の手順の経験は、今後、幅広い領域で活躍する時にきっと良い手助けになることと思います。…ガンバレ。2年生—某教授のテスト攻撃にもめげず、「もう嫌だ」と言いながらも努力の日々です。専門科目の最初の山

を皆でなんとか登って下さい。…フンバレ。

1年生—生理学実習、解剖学実習が終了しました。OTになるための基礎が身に付きつつあります。…ケツバレ。

助手—オメデタイ事が有った人。オメデタイ待ちの人。親戚にオメデタイ事が有った人。いつもオメデタイ人。さて、誰の事でしょう。…答えはバレバレ。

(下田信明)

◇言語聴覚障害学科

言語聴覚士法制定記念祝賀会

言語聴覚士法成立を祝う記念大祝賀会を12月19日に開催しました。学科の全教員と学生160名が参加し、他学科の先生方もお祝いに駆けつけてくださいました。

笹沼学科長の挨拶の後、伊藤副学科長のかけ声の下、皆で喜びの祝杯を上げました。また、学生有志の苦心の作「黄金のくす玉」が、ファンファーレと共に見事に開き、大喝采となりました。学生による吹奏楽やハンドベルの好演奏が会を盛り上げました。

当面は、まず第一に国家試験合格という新しい目標に向かい、教員、学生ともに努力して行きたいと思えます。
(中村淳子)

◇放射線・情報科学科

明けましておめでとうございます。開学3度目の新年を迎えました。3年生は2班に分かれてそれぞれ9月16日と11月4日から始まった7週間の臨床(臨地)実習を無事に終了し、大きく成長して帰ってきました。2年生は放射線・情報科学特論の授業で、外部からお招きした特別講師から国家資格、就職、社会との接点など専門職としての有益な話を聴き、自覚を持ち始めつつあります。1学年と2学年の学生実験もそれぞれ順調に進行し、どうやら学科のカラーが出来てきたように思います。各学科とも新しさを学び、面白いように知識が増えていくのが見えて大変嬉しく思います。
(野原功全)

◇医療経営管理学科

2年目の入試はじまる

当学科の認可されたのは96年12月であったため、第1年度の入試は、97年に入ってから行われましたが、第2年度は他の学科と同様に97年11月に高校推薦入試、12月に特別選抜入試が行われました。

第1年度は、わが国で初めての学科であるため、知名度が高くなく正直なところ倍率があまり高くありませんでした。第2年度は、4月から教員が全県の高校を訪問した結果もあって、高校推薦者は前年の3倍に増加したことで少しホッとさせられました。しかし、問題は教育の中味でありましょう。教員一同努力する決意で新年を迎えたいと思えます。(紀伊國献三)

◇医療福祉学科

学科教員こぞって京都に行く

12月7日(日)・8日(月)の2日間、医療福祉学科教員の多くは京都におりました。学校をさぼって旅行?とんでもありません。同志社大学・京都社会福祉会館等を会場に開催された日本社会事業学校連盟の社会福祉教育セミナーに参加していたのです。日本社会事業学校連盟には、社会福祉士・介護福祉士の資格取得に関する教育内容をもった大学・短大・専門学校が多くが加入しています。わが医療福祉学科は新規加入校として今回のセミナーでデビューしたわけです。新設校1期生は学生同様教員も緊張の連続なのでした。

(田澤 薫)

◇医学教育センター

年末雑感

年度が終わろうとする時期にくると過去の反省がしきりと頭をかすめるのは日常の心掛けが悪いからであります。何はともあれ、本年度はクリニックも新設され、医学教育センター会議に多くの先生方が参加されることとなったことは喜ばしいことの一つでした。この会議は月1回開催されますがそれに先立ち、センターの小委員会に於いて議案及び連絡事項を整備し、事前に事務局側とも協議しています。会議は活発な発言が多く、屢々時間超過しようとはしますが、これが本センターのエネルギーの源だとも感じています。

(間藤方雄)

◇語学教育センター

C★C★C

新春に英単語(3C)を用いて大学で学ぶとは何かを考えてみましょう。既知の知識の記憶は学問の始まりに過ぎず、より大切なのはそれを土台にCuriosity(知的好奇心)を満足させる、自分の持つ疑問に自分で答えを出す情熱です。更にその答えが確かで有効なものかを世に問う、一級友、教員、大学内外の批判を仰ぐためのCommunicationの努力がなければひとりよがりになってしまうでしょう。この二つの資質はありがたいことに多分Contagiousなものです。どうか本年もC★C★Cがみなぎる大学としますます成長することを願いつつ、

(宮尾洋子)

◇臨床医学センター

開院半年を省みて

開院後約半年余、関係者の皆様のご努力で外来患者数3桁の日が多くなり、入院も10人の日があり、3人の常勤医は多忙を極めています。一般の患者さんも徐々にではありますが確実に増加しています。教職員を対象とした人間ドッグもできるだけ早く開始しよう

と準備を進めています。

皆さん既にご存知のように、大谷学長はじめ関係する先生方のご努力により、STの資格法案が国会最終日に可決されました。わが言語聴覚センターの存在が益々クローズアップされるとともに、本学にとっても画期的な意義のある出来事です。(齋藤和雄)

◇言語聴覚センター

自閉症について

自閉症は親の育て方が悪いなど、環境によるストレスが原因でなるものと誤解されているむきもありますが、実際は、脳機能の何らかの異常によって生じる発達障害の1つに位置づけられています。コミュニケーションの障害を主な特徴とするため、当センターを受診される方が多く、現在、2歳から17歳まで70名近い方々が利用なさっています。

センターでは、自閉症の人の能力を伸ばすだけでなく、自閉症の人との接し方を周りの人に理解していただき、両者が歩み寄ることでより豊かなコミュニケーションが実現するよう支援をしています。(飯塚直美)

教員紹介

(毎月、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先⑥主要著書・論文どちらか1点のみ⑦本校における担当科目⑧趣味。

工藤ちい子(くどう ちいこ)



①看護学科・講師③天使女子短期大学、玉川大学④母性看護学、助産学⑤慶應大学病院(2年前まで)⑥シェーラーにおける「愛」について⑦看護の方法論Ⅱの一部⑧身近な空、山、草木等の美しさ、それらの四季の変化を感じる。美術品鑑賞。

石井恵美(いしい めぐみ)



①理学療法学科・助手②1972年③埼玉医科大学短期大学理学療法学科④(群馬県の)沼田脳神経外科循環器科病院⑦実習(運動学・生理学等)⑧ドライブ、天気の良い日に太陽の下でゴロゴロ昼寝。



井原廣一 (いはら ひろかず)



①放射線・情報科学科・教授②1937年
③信州大学工学部通信工学科④情報・
制御システム技術、Dependable Comput-
ing and Fault Tolerance⑤(株)日立メデイ
コ⑥Dependable Medical Systems (IEEE
/FTCS-25, 1995) ⑦自動制御工学、
自動制御工学実験、基礎物理学実験⑧システムの研究
開発に興味が向いてしまい、趣味はいろいろ試みまし
たが長続きせず、現在は読書(特に裏歴史物、宇宙SF)、
地の利を活かしてゴルフと温泉巡り、今後釣りと油絵
を予定。

加藤雄二 (かとう ゆうじ)



①医療経営管理学科・講師②1932年③
中央大学法律学科④診療報酬評価、査
定減原因分析・防止対策、業務処理シ
ステム設計⑤病院システム研究会⑥レ
セプト例題集⑦診療報酬点数理論・演
習⑧最近では読書(ジャンルは無差別、

医学書はできるだけ読むようにしています。)スポー
ツ(スキー、卓球は東京都病院協会団体2位になった
ことがあります。)

中野いく子 (なかの いくこ)

①医療福祉学科・教授③日本社会事業大学大学院社会
福祉学研究科博士後期課程(社会福祉学博士)④高齢
者福祉、地域福祉、社会福祉調査⑤東京都老人総合研



究所⑥Measuring the Social-Care Service
Needs of Impaired Elderly People in
Japan, Aging and Society, 16, 1996⑦社
会福祉原論、老人福祉論、社会福祉政
策・計画論⑧音楽鑑賞(クラシック、
とくにピアノソナタが好きですが、美空ひばりも好き
です。)

佐藤勝彦 (さとう かつひこ)



①医学教育センター・特任教授②1931
年3月11日③星薬科大学薬学部④中枢
神経系の薬理学的研究(特に神経伝達
物質の生化学的並びに蛍光組織化学的
研究)⑤東京医科大学薬理学教室教授
⑥Pharmacological Studies of the Detec-
tion of Catecholamine Neurons in the Rat Brain and
Change with Psychotropic Drug Treatment(Int. J. Clin.
Pharmacol. : 学位論文)⑦薬理学(看護学科、理学療
法学科、作業療法学科)⑧食べ歩き。

⑥Pharmacological Studies of the Detec-
tion of Catecholamine Neurons in the Rat Brain and
Change with Psychotropic Drug Treatment(Int. J. Clin.
Pharmacol. : 学位論文)⑦薬理学(看護学科、理学療
法学科、作業療法学科)⑧食べ歩き。

宮尾洋子 (みやお ようこ)



①語学教育センター・センター長・教
授②1935年③国際基督教大学・ミシガ
ン大学大学院④英語学⑤国際基督教大
学⑥講談社和英辞典⑦英語I-1,
I-3, II-1⑧読書(日本語か英語
で乱読。古典からベストセラーまで、

今とりくんでいるのはアウグスティヌスの「告白」と、

第5回IUHWクイズ当選者発表

第5回IUHWクイズは全問正解者がいませんでしたので、当選者なしとさせていただきます。

正解

問1. ③ “ファール昆虫記”の中にもスカラベがエサ
を運ぶ描写がある。

問2. ④ 学名につく。芸者：クジャクチョウ、サムライ
：エルタテハ、大名：ベニシジミ、ダイミョウセ
セリ。忍者はない。

問3. ② カラスアゲハ、カラスシジミ、クジャクチョウ、
ツバメシジミ、ムラサキツバメなど。「タカ」の
つく名はない。

問4. ① ギフチョウ、ナガサキアゲハ、サツマシジミ。
「シマネ」のつく名はない。

問5. ④ アサマシジミ、フジミドリシジミ、キリシマミ
ドリシジミ。「ナスダケ」のつく名はない。

問1. 古代エジプトでは、太陽神の化身として崇めら
れたスカラベ(フン虫)は、どのようにしてエサを運
ぶか?

- ① 前足で転がして運ぶ。 ② 口にくわえて運ぶ。
③ 後ろ足で転がして運ぶ。 ④ 背負って運ぶ。

問2. チョウと関係のないものはどれか?

- ① 芸者 ② サムライ ③ 大名 ④ 忍者

問3. チョウと関係のないトリはどれか?

- ① カラス ② タカ ③ クジャク ④ ツバメ

問4. チョウと関係のない地名はどれか?

- ① シマネ ② ギフ ③ ナガサキ ④ サツマ

問5. チョウと関係のない山はどれか?

- ① アサマ ② フジ ③ キリシマ ④ ナスダケ

米国女流作家の作品群。Alison Lurie, Ann Tyler, Toni Morrisonなど。) 絵画鑑賞 (特に好きなのは、Paul Klee, Mondrian, Kandinsky) 書道 (もう少し修業したら書道塾が始められるかな?)

菊地義信 (さくち よしのぶ)



①情報教育センター・助教授②1950年③静岡大学大学院④情報工学、デジタル信号処理、電子工学⑤東京家政学院筑波女子大学⑥臨床応用を目的とした音声評価装置の開発⑦情報科学、情報科学演習、電気工学、電気工学実験、

電子工学実験、ソフトウェア工学、ソフトウェア工学演習⑧音楽鑑賞、写真、スキー、創ることと作ること。

編集後記

ここ大田原にもいよいよ冬が訪れ、寒さが益々厳しくなってきました。皆様は体調など崩していないでしょうか。

さて、去年は世間では何かと暗い話題が続きましたが、年末に入りST、PSW法の可決という本学にとって朗報が飛び込み、新たな目標を胸に新年を迎えることが出来ました。皆様にとっても今年一年が充実した年であることをお祈り致します。

今年もIUHWをどうぞよろしくお祈り致します。
(石井伸英)

リレーエッセイ

「アフリカの精霊が語る現代社会」

語学教育センター 溝口 昭子

ナイジェリアの英語文学には「Abiku」という精霊がモチーフとしてたまに使われています。これはYoruba族の間で信じられている精霊で、人間の母親の胎内に宿り、生まれるとすぐ死んで精霊の世界に戻るということを何度でも繰り返すやっかいな代物です。同じ母親から生まれた子供が何人も早死にするうち、親もわが子が恐いAbikuだと気づき、精霊界と子供の絆を断ち切るべく、或いは2度とAbikuが生まれてこないように様々な儀式を行うのです。

医学的には、アフリカにおける乳幼児死亡率の高さや鎌状赤血球を説明する「迷信」と考えられるかもしれませんが、ある高名なYoruba人作家はこう言っています。Abikuは、全ては繰り返されるという、Yorubaの円環思想の現われであると。2度と起こしたくないはずの戦争の再勃発、期待されていたはずの新政権の腐敗に、彼はAbiku的なものをみるのだと言います。そして、それでもその環に「進化の結び目」を残す努力を続けることこそ人の使命なのだと言っているのです。さて、果たして私たちはAbikuなのでしょう吗?それとも人間なのでしょう吗?

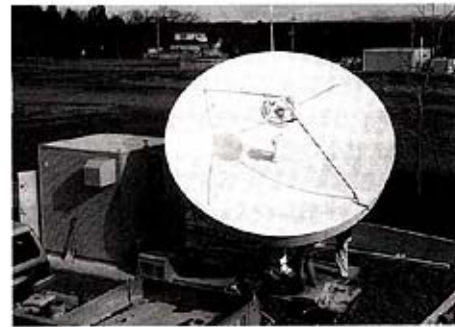
次回執筆: 城間将江 (言語聴覚障害学科)

IUHWクイズ ー第6弾ー

賞品はなんと全国共通遊園地券をペアで!

この謎の物体は?

今回はJ横横にそびえたつ、この写真の物体に関する問題です。解答番号を書き込み、事務局窓口外側のメールボックスへ。全問正解者から、抽選で1名の方に全国共通遊園地券をペアで差し上げます。応募資格はIUHWの学生で、1人1通、切は2月27日。



キリトル

学科 _____ 学年 _____

名前 _____

解答

問1. _____

問2. _____

キリトル

- 問1. この物体の正体は?
- (1) 中国との通信衛星用アンテナ (1) 4メートル
- (2) ベトナムとの通信衛星用アンテナ (2) 4メートル50センチ
- (3) 遅刻者を取り締まるレーダー (3) 5メートル
- (4) 校舎を守るバリア装置 (4) 5メートル50センチ